



2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月12日

上場会社名 株式会社TSIホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3608 URL <https://www.tsi-holdings.com>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)下地 毅
 問合せ先責任者 (役職名)取締役コーポレート本部長 (氏名)内藤 満 (TEL)03-5785-6400
 四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績(2024年3月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年2月期第1四半期 | 39,295 | △0.2 | 1,018 | △44.5 | 1,108 | △54.3 | 546 | △72.5 |
| 2024年2月期第1四半期 | 39,372 | 3.3 | 1,836 | 14.5 | 2,425 | 9.6 | 1,988 | △3.6 |

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 1,716百万円 (△4.5%) 2024年2月期第1四半期 1,797百万円 (△31.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年2月期第1四半期 | 7 29 | — — |
| 2024年2月期第1四半期 | 23 78 | — — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年2月期第1四半期 | 132,016 | 97,037 | 73.3 |
| 2024年2月期 | 133,464 | 97,422 | 72.7 |

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 96,704百万円 2024年2月期 97,084百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年2月期 | — — | 0 00 | — — | 15 00 | 15 00 |
| 2025年2月期 | — — | | | | |
| 2025年2月期(予想) | | 0 00 | — — | 19 00 | 19 00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|-------|------|-------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 74,500 | 1.7 | △900 | — | △500 | — | △900 | — | △11.93 |
| 通期 | 160,000 | 3.0 | 2,000 | 13.6 | 2,500 | △33.5 | 4,000 | △17.5 | 53.04 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2025年2月期1Q | 80,327,993株 | 2024年2月期 | 87,074,993株 |
| 2025年2月期1Q | 6,049,494株 | 2024年2月期 | 11,655,093株 |
| 2025年2月期1Q | 74,936,707株 | 2024年2月期1Q | 83,637,833株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年3月1日から2024年5月31日まで)における当アパレル業界は、新型コロナウイルス感染症の影響が収束したことに伴いインバウンド需要が拡大するなど、個人消費には回復が見られた一方で、長く続いた同感染症の影響やこれに伴う物価高に起因するアパレル商品に対する消費マインド自体への変化、ウクライナ及びパレスチナにおける紛争に伴う資源価格及び材料価格の高騰並びに大幅な円安の進行などの複合的な要因により、引き続き厳しい状況が続きました。

このような経営環境のもと当社グループは、2024年4月に、2027年に向けた新たな中期経営計画「TSI Innovation Program 2027 (TIP27)」を公表いたしました。当社グループは、「ファッションエンターテインメントの力で、世界の共感と社会的価値を生み出す」というパーパスに基づき、抜本的な収益構造改革及び成長戦略と人的資本への投資を両輪で推進することで、企業価値向上に努めております。具体的には、原材料の調達先や商品の仕入先の集約によるスケールメリットの追求、商品価格の設定やセール施策の見直しによる利益率の向上、店舗の統廃合と大型化による戦略的な店舗と人員の再配置、ブランド毎に分散しているECサイトの集約による運営コストの効率化並びに本部における人員体制の見直しなどにより、収益構造の改革を目指します。また、ブランドポートフォリオの見直しによる成長性・収益性の高い強化ブランドへの集中投資、成長が見込める市場セグメントへの新規参入及びM&Aによる事業展開・既存ブランドの拡大、店舗及びECの集約によるブランド間送客並びに顧客への提案力の向上を目指したCRMの強化など、成長戦略への投資を図ってまいります。

一方、当社グループは、お客様の関心が高まっているサステナブル領域における改革により一層の注力をする事とし、素材の見直しや製造工程の再検討などを通じて、当社グループの提供する商品の新たな価値をお客様に再認識していただく努力を続けてまいります。

当社グループとしましては、当社グループ各社の店頭売上確保ならびにECによる販売を強化するとともに、引続き商品の仕入を厳しく見極めて適正基準まで抑えることによる、過剰在庫及び原価の抑制などの措置に徹底して努めております。

その結果、売上高については、392億95百万円(前年同四半期比0.2%減)、営業利益は10億18百万円(前年同四半期比44.5%減)、経常利益は11億8百万円(前年同四半期比54.3%減)となりました。

また、当社グループの親会社株主に帰属する四半期純利益は5億46百万円(前年同四半期比72.5%減)となりました。セグメント別の売上の概況は次の通りです。

(アパレル関連事業)

当社グループのアパレル関連事業につきまして、3月は低気温により春物商材の稼働が鈍化しましたが、4月以降は気温上昇に伴い、初夏物商材が好調に推移したことに加え、全社的に在庫消化の促進に努めたことにより、売上高は徐々に取り戻しつつあります。

また、インバウンド需要は引き続き好調であり、ストリートブランドの「ステューシー」をはじめ、ロンドンのコレクションブランドの「マーガレット・ハウエル」や海外にも販路を持つアウトドアブランドの「アンドワンダー」などが堅調に推移しており、ミリタリーファッションを主軸とした「アヴィレックス」、レザーファッションブランドの「ショット」、セレクトショップの「ロイヤルフラッシュ」、レディースブランドの「アドーア」や「カデュネ」なども、市場のニーズを踏まえ、お客様のライフスタイルに対応した特色を活かした商品展開を実施していくことにより、収益力の更なる拡大につながりました。

これら的一方で、ゴルフ関連を中心とした卸売上における影響により、アパレル関連事業の売上高は377億89百万円(前期比0.7%減)となりました。

(その他の事業)

その他の事業につきましては、販売代行や人材派遣事業を営む(株)エス・グルーブにおいて、外部登録派遣売上高が伸長したことに加え、常設販売代行店舗が増加した事に伴い、店頭売上が好調に推移いたしました。また、主にアパレル特化SaaS型求人サービスや求人SNSプラットフォームの企画・運営を行う(株)READY TO FASHIONが、本年3月に当社の完全子会社としてグループ入りした事により、当社グループにおける更なる収益力の強化を図ってまいりました。

また、合成樹脂製品の製造販売を行う(株)トスカバノック、店舗設計監理や飲食事業を営む(株)ブラックス、化粧品、香水、石鹸等の仕入及び販売を行うLaline JAPAN(株)、そして米国カリフォルニア州で人気のオーガニックカフェを日本で

運営するUrth Caffe JAPAN(株)などの事業により、売上高は17億5百万円（前年同四半期比11.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度末 (2024年2月29日) | 当第1四半期連結会計期間末 (2024年5月31日) | 増減 |
|----------|--------------------------|-------------------------------|--------|
| 総資産 | 133,464 | 132,016 | △1,447 |
| 負債 | 36,041 | 34,979 | △1,062 |
| 純資産 | 97,422 | 97,037 | △384 |
| 自己資本比率 | 72.7% | 73.3% | 0.6% |
| 1株当たり純資産 | 1,287.25円 | 1,301.92円 | 14.67円 |

資産は、売掛金の増加（前期末比9億32百万円増）、棚卸資産の増加（前期末比8億8百万円増）等があったものの、現金及び預金の減少（前期末比30億47百万円減）等により、14億47百万円の減少となりました。

負債は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少（前期末比8億35百万円減）等により、10億62百万円の減少となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加（前期末比8億79百万円増）等があったものの、純資産の控除項目である自己株式の取得等により、3億84百万円の減少となりました。

以上の結果、1株当たり純資産は、14.67円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、2024年4月12日に公表しました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年2月29日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 27,472 | 24,425 |
| 受取手形 | 85 | 111 |
| 売掛金 | 11,596 | 12,529 |
| 商品及び製品 | 26,863 | 27,693 |
| 仕掛品 | 507 | 434 |
| 原材料及び貯蔵品 | 681 | 732 |
| その他 | 3,724 | 2,720 |
| 貸倒引当金 | △54 | △58 |
| 流動資産合計 | 70,877 | 68,588 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 6,560 | 7,010 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,501 | 1,921 |
| その他 | 5,658 | 5,433 |
| 無形固定資産合計 | 7,159 | 7,355 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 25,137 | 25,816 |
| 投資不動産 | 4,683 | 4,886 |
| その他 | 19,147 | 18,462 |
| 貸倒引当金 | △100 | △102 |
| 投資その他の資産合計 | 48,866 | 49,062 |
| 固定資産合計 | 62,586 | 63,428 |
| 資産合計 | 133,464 | 132,016 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,615 | 9,584 |
| 短期借入金 | 5,013 | 5,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,309 | 2,759 |
| 未払法人税等 | 637 | 542 |
| 賞与引当金 | 1,164 | 1,588 |
| 株主優待引当金 | 104 | 76 |
| 資産除去債務 | 148 | 68 |
| その他 | 8,395 | 7,910 |
| 流動負債合計 | 28,388 | 27,529 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,630 | 1,345 |
| 役員退職慰労引当金 | 35 | 35 |
| 退職給付に係る負債 | 1,192 | 1,213 |
| 資産除去債務 | 2,367 | 2,427 |
| その他 | 2,426 | 2,427 |
| 固定負債合計 | 7,653 | 7,449 |
| 負債合計 | 36,041 | 34,979 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年2月29日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 15,000 | 15,000 |
| 資本剰余金 | 24,030 | 19,520 |
| 利益剰余金 | 60,052 | 59,455 |
| 自己株式 | △7,605 | △4,052 |
| 株主資本合計 | 91,477 | 89,922 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,597 | 5,477 |
| 為替換算調整勘定 | 1,136 | 1,441 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △126 | △136 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,607 | 6,781 |
| 非支配株主持分 | 337 | 333 |
| 純資産合計 | 97,422 | 97,037 |
| 負債純資産合計 | 133,464 | 132,016 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年5月31日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 39,372 | 39,295 |
| 売上原価 | 16,810 | 17,261 |
| 売上総利益 | 22,562 | 22,033 |
| 販売費及び一般管理費 | 20,726 | 21,014 |
| 営業利益 | 1,836 | 1,018 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 13 | 11 |
| 受取配当金 | 418 | 133 |
| 不動産収入 | 84 | 94 |
| 為替差益 | 63 | 163 |
| その他 | 63 | 47 |
| 営業外収益合計 | 643 | 450 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 12 | 11 |
| 不動産賃貸費用 | 11 | 10 |
| 保険解約損 | 11 | 2 |
| 持分法による投資損失 | - | 287 |
| その他 | 18 | 47 |
| 営業外費用合計 | 54 | 359 |
| 経常利益 | 2,425 | 1,108 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 0 |
| 投資有価証券売却益 | 191 | 466 |
| 特別利益合計 | 191 | 467 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 4 | 2 |
| 投資有価証券売却損 | 17 | 130 |
| 減損損失 | 25 | 23 |
| その他 | - | 7 |
| 特別損失合計 | 47 | 164 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,570 | 1,411 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 609 | 590 |
| 法人税等調整額 | △2 | 284 |
| 法人税等合計 | 606 | 875 |
| 四半期純利益 | 1,963 | 536 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △25 | △9 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,988 | 546 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年5月31日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,963 | 536 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △23 | 879 |
| 為替換算調整勘定 | △200 | 281 |
| 退職給付に係る調整額 | 55 | △10 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 0 | 28 |
| その他の包括利益合計 | △166 | 1,179 |
| 四半期包括利益 | 1,797 | 1,716 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,818 | 1,720 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △21 | △4 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(追加情報)

〔「従業員持株会信託型E S O P」〕

当社は、2020年4月13日開催の取締役会決議に基づき、福利厚生の一環として、従業員インセンティブ・プラン「従業員持株会信託型E S O P」を再導入しております。

①取引の概要

当社は、「TSI社員持株会」(以下、「持株会」といいます。)に加入する当社グループ社員のうち、一定の要件を充足する者を受益者とする信託(以下、「持株会信託」といいます。)を設定しました。

持株会信託は2020年4月より5年間にわたり持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を、借入により調達した資金で予め取得しました。その後、持株会による当社株式の取得は、持株会信託により行ないます。なお、当社は、持株会信託の当該借入に対し補償を行なっております。

②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度140百万円、301千株、当第1四半期連結会計期間130百万円、280千株であります。

③総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度185百万円、当第1四半期連結会計期間185百万円

〔「株式給付信託(BBT)」〕

当社は、2016年5月25日開催の第5期定時株主総会決議に基づき、当社の取締役及び委任型執行役員並びに当社グループの取締役(以下、「対象役員」といいます。)に対する業績連動型の株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しております。

①取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、対象役員に対して、役員株式給付規程に基づき、業績達成度等に応じて付与されたポイントに相当する当社株式及び当社株式を退任日時点の時価で換算した金額相当の金銭(以下、「当社株式等」といいます。)が信託を通じて給付される報酬制度であります。

なお、対象役員が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として対象役員の退任時とします。

②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度273百万円、486千株、当第1四半期連結会計期間272百万円、483千株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注) 1 | 計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3 |
|-----------------------|--------------|--------------|--------|--------------|----------------------------|
| | アパレル 関連事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 38,018 | 1,352 | 39,371 | 1 | 39,372 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 29 | 180 | 209 | △209 | — |
| 計 | 38,047 | 1,533 | 39,580 | △207 | 39,372 |
| セグメント利益 | 2,025 | 118 | 2,143 | △307 | 1,836 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂関連事業及び店舗設計監理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△307百万円は、事業セグメントに帰属しない全社費用及び連結会社間の内部取引消去額等によるものです。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注) 1 | 計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3 |
|-----------------------|--------------|--------------|--------|--------------|----------------------------|
| | アパレル 関連事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 37,756 | 1,538 | 39,295 | — | 39,295 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 33 | 167 | 200 | △200 | — |
| 計 | 37,789 | 1,705 | 39,495 | △200 | 39,295 |
| セグメント利益 | 1,430 | 152 | 1,582 | △564 | 1,018 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂関連事業及び店舗設計監理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△564百万円は、事業セグメントに帰属しない全社費用及び連結会社間の内部取引消去額等によるものです。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。